



第2回学校評価についてまとめました

2学期の終わりにご協力いただいた学校評価の結果及び改善策がまとめられましたので、お知らせします。引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学校評価一覧表から】.....は、数値目標が達成されていないもの

項目	具体的数値目標	調査結果	改善策 等
保護者との連携	①「生徒の様子や学校からの各種通信を通して学校の様子がわかる」と答える保護者が80%以上である。	保護者 89%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、各種通信、連絡メールなどで、学校・生徒の様子を発信し、家庭との連携を図ります。 ・生徒の活躍の様子の写真等を校舎内に掲示することを継続します。 ・日頃から生徒の僅かな変化も見逃さず、電話連絡や家庭訪問等により家庭との連携を図ります。
	②「学校やPTAの諸活動に参加している」と答える保護者が80%以上である。	保護者 86%	
	③「学校に連絡や相談がしやすい」と答える保護者が80%以上である。	保護者 85%	
確かな学力	④「授業に満足感をもっている」と答える生徒が80%以上である。	生徒 89%	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」「どうして」を多用した授業づくりを充実させるとともに、タブレット端末を活用して、「もっとやってみたい」という気持ちになる授業を展開していきます。 ・今後も朝読書の時間確保、図書だよりの発行、「今日の一冊」の紹介、生徒による読書案内等で本の魅力を伝え、図書室の活用を図っていきます。
	⑤「授業がわかる」と答える生徒が80%以上である。	生徒 83%	
	⑥「家庭での学習で、スケジュール帳やSPカード、学習に手引き等を活用している」と答える生徒が90%以上である。	生徒 7.1%	
	⑦「1ヶ月に1冊以上本を読んでいる」と生徒の80%以上が答えている。	生徒 7.1%	
豊かな心	⑧「あいさつやTPOに応じた言葉遣いができる」と90%以上が答えている。	保護者 89% 生徒 90%	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、休み時間、学校生活のあらゆる場面で礼儀正しい言動ができるよう指導に努めます。 ・個別面談やスケジュール帳、日常の観察等で生徒の様子を把握し、素早く対応します。また、毎月実施する生活アンケートでいじめの未然防止・早期発見に努めます。 ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等へ相談できる環境作りをさらに進めていきます。 ・生徒と向き合う時間を確保し、「ほめる」「認める」「励ます」支援で子供のよさや意欲を引き出し、自己有用感や自己肯定感を育てます。
	⑨「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と90%以上が答えている。	保護者 85% 生徒 89%	
	⑩「自分にはよいところがある」と生徒の90%以上が答えている。	生徒 6.8%	
	⑪「学校の決まりや約束を守って生活している」と90%以上が答えている。	保護者 92% 生徒 94%	
健康・体力	⑫「生徒はほぼ毎日朝食をとっている」と90%以上が答えている。	保護者 90% 生徒 92%	<ul style="list-style-type: none"> ・食事や睡眠の大切さを保健だより等で啓発していきます。 ・生活記録を有効活用することで、時間を意識し、生活の見通しをもつ能力を身に付けていきます。
	⑬「生徒は1日6時間以上の睡眠をとっている」と80%以上が答えている	保護者 91% 生徒 81%	
	⑭「運動（部活も含む）や地域のスポーツ活動などに取り組んでいる」と80%以上が答えている。	保護者 70% 生徒 74%	
安全確保	⑮感染症対策を含め、「施設・設備の安全管理や不審者への対応をとっている」と90%以上の保護者が答えている。	保護者 90%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も感染症対策や校内での安全対策に保護者の方々の協力も得ながら、取り組んでいきます。 ・職員による校区内のパトロールや校門指導を行い、安全確保に努めます。
	⑯「登下校時の街頭指導・パトロールに学校・家庭・地域が協力している」と80%以上の保護者が答えている。	保護者 90%	

進路・ 生き方	⑰「生徒は将来の夢や目標をもち、実現に向けて努力している」と80%以上が答えている。	保護者7.1% 生徒7.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、行事や生活記録を通して、目標をもつこと、自分の行動を振り返ることの大切さに気づかせるとともに、進路学習の充実を図り、「なりたい自分」を目指す心を育てていきます。 ・進路指導の充実と進路相談をしやすい関係作りを進めます。
	⑱「親子で進路についての話し合いを行っている」と80%以上が答えている。	保護者8.2% 生徒6.7%	
運営	⑲「部活動方針に則って運営されていると保護者の90%以上が答えている。	保護者9.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動方針を遵守し、保護者との連絡を密にし、安全で計画的な運営をしていきます。

【保護者：自由記述欄から】

- ① 部活動について
- ② 学校への質問（受験等）について
- ③ 教職員へのねぎらいの言葉

【学校から】

- ①「部活の練習試合の終了時間が決められていないため、こどもたちの拘束時間が長くなり、また、迎えに行った保護者の待機時間が長くなってしまふ。」という意見がありました。部活動によって、また相手のある練習試合等の活動実態で異なりますが、職員全員で共有して生徒の健康と安全を第一に、その意義を達成できるよう活動していきます。
- ②「受験について質問や確認したいことがあるので、学校に確認したいことをノートなどに書いて意見を聞けるとありがたいです。」というご意見がありました。煌星 NO.7では、「学校に連絡するときに、メールでやりとりできたら助かります。」というご意見について、「現在のところ、本校では、皆様への確実な情報伝達と、緊急時の迅速な対応を最優先するため、個人的な内容についてはお電話でのご連絡をお願いしております。電話であれば、その場で状況を確認し、必要な情報を正確にお伝えできるため、保護者の皆様との円滑な連携を図ることができると考えております。今後、連絡方法の多様化についても検討してまいります。現時点ではご理解いただけますようお願いいたします。」とお答えしました。しかし、個別の対応が必要な場合には、どうぞ紙面での連絡も活用してください。特に、受験については細かくて正確な情報をお伝えしなければならないこともあります。ご不便をおかけすることもあるかもしれませんが、よろしくお願い致します。
- ③教職員及び本校の教育活動に対する保護者の皆様の温かい励ましや労いのお言葉ありがとうございます。これらを励みに今後も、生徒との関わりを大切にして、教育活動に努めていきたいと考えております。

これからも子ども達の健全な成長のために、保護者の皆様の温かいご理解ご協力をどうぞよろしくお願い致します。